



日本防災士会広島県支部会報



第24号 平成21年12月13日

日本防災士会広島県支部南東部支部活動報告

【広島県南東部支部第2回会議】

日時：12月13日 10～12時

場所：三原市 JR 駅前サン・シー・プラザ 4階第2会議室

1. 挨拶 桑木氏

9月26日に設立後の会議で参加者は7人、広島県南東部地区で地域を守る集団として防災士が立ち上がった事の意義は大きい。地道でも着実に輪を広げよう。



会議の様子

2. 自己紹介 参加者全員

7人は地域防災には欠かせない活動をしている人達で、防災士としての活動経験はないが実質的に必要な防災活動の指導者であったり、地域活動のリーダーである。即ちI氏は福山市内で自主防災組織を立ち上げた、防火協会会長。S氏は福山市内の町内会長、F氏は企業勤務時代に安全防災部門を担当され、地域の自主防災組織を立ち上げた。H氏は12月に定年退職され防災士取得、民生委員として災害時要援護者救援に取り組んでいる。N氏は日本赤十字の救急法の指導員として長年幅広く活動されている。O氏町内会長として自主防災組織を立ち上げ、毎年地域で防災訓練を実施している。K氏は市内の防災啓発活動、地域の防災訓練の支援に取り組んでいる。このように多士済々で毎回会って話し合うだけでお互いに十分勉強になり、時間が足りないと感じた。



会議終了後全参加者7人

3. 広島県南東部支部の現状説明 岩崎氏

- ・南東部支部会員名簿が出席者に配布された。
- ・南東部支部設立会議事録が配布説明された。
2009年9月26日に設立開催された模様を記録したもの。
- ・会員の連絡方法は原則として Email を使用する。
次いで FAX、電話の順とする事を申し合わせた。

4. 防災体制の地域の現状と課題 自由討議

- ・地域の災害意識の向上が必要
- ・自主防災組織の活性化が必要
- ・災害時要援護者への取り組み
- ・出前講座の実施 H氏は地域で実施している事例を報告された
- ・地域の防災訓練の取り組み方
- ・町内会役員任期のあり方

話し合いを通して地域によっては課題が多いことが分かった。

しかし諦めず、粘り強く、気負わず取り組むことが必要だと話し合った！

参加者の感想：初参加者が5人であったが皆さん積極的に留まることなく話は進み広がり、大変有意義であった。

【今後の予定】

3月中旬 議題：活動報告 場所：未定